

SBI インシュアランスグループで初の試みである

シリーズアンケート調査結果のお知らせ

～ コロナ禍における行動様式・生活の変化について ～

当社グループの事業会社6社は、新型コロナウイルス感染症の拡大という大きな環境変化が行動様式に与えた影響を把握するため、各事業会社の商品や特性に基づいた独自のアンケート調査を実施し、10月2日（金）から10月9日（金）の間に調査結果の公表を行いました。事業会社6社のアンケート結果の概要について、以下のとおり取りまとめましたのでお知らせいたします。

<シリーズアンケート統一テーマ>

コロナ禍における行動様式・生活の変化

シリーズアンケート調査結果のポイント

本調査の目的である「コロナ禍における行動様式・生活の変化」を総括すると、以下のような場面で意識や行動の変化が認められました。

1. コロナ禍による非接触・非対面型の行動変化

コロナ禍により、非接触・非対面型の行動が注目されていますが、SBI 生命保険の調査によると「日用品や食事でのスマートフォン決済が増えた」との回答が約6割、うち約3割がコロナ対策を意識して利用を増加させたという結果となりました。また、SBI いきいき少額短期保険の調査では、60歳以上でキャッシュレス決済の使用や通信販売の積極的な利用が、さらにSBI プリズム少額短期保険の調査では、ペット用品のネット購入への切り替えが増加するなど、非接触・非対面型の行動が様々な場面で増加していることが推察される結果となりました。

2. コロナ禍と「住まい」への意識の変化

コロナ禍による在宅勤務の増加により住まいに関する意識について変化が見られました。SBI リスタ少額短期保険の調査によると、地方への住み替えを考えた人のうち約4割が、住み替えを考えた理由として、新型コロナウイルスの影響によるものとの結果となりました。

3. コロナ禍での「死」の意識や家族との話し合い

コロナ禍で「新型コロナウイルスによる死亡」がマスコミ等で報じられる機会が多数ありました。SBI いきいき少額短期保険の調査によると、自分自身もしくは家族の「死」を意識した人は半数近くとなりました。また、新型コロナウイルスをきっかけに家族と何かしらの話し合いを行った人は約7割であったとの結果となりました。

4. ペットとの生活・行動の変化

コロナ禍により、ペットとの生活にも変化が現れました。SBI プリズム少額短期保険の調査によると、約 4 割の方がペットとの外出時には、混雑を避けるために人出が少ない場所や時間を選ぶ結果となりました。

5. 自転車・自動車の利用意識の変化

日常での様々な行動場面において、自転車や自動車が利用されますが、SBI 日本少額短期保険の調査によると、約 3 割の方がコロナ禍により自転車の利用が増加したとの結果となりました。また、SBI 損害保険の調査によると、約 4 割の方が買い物やプライベートの場面で、自動車の利用機会の変化が最も大きくなったという結果となりました。

各事業会社の調査結果公表日および調査テーマ

公表日	事業会社名	調査テーマ
10月2日(金)	SBI 損害保険株式会社	コロナ禍での自動車・自動車保険に関する意識の変化
10月5日(月)	SBI 生命保険株式会社	コロナ禍のスマートフォン決済に関して
10月6日(火)	SBI いきいき少額短期保険株式会社	コロナ禍における意識・行動の変化
10月7日(水)	SBI 日本少額短期保険株式会社	コロナ禍による自転車利用の変化
10月8日(木)	SBI リスタ少額短期保険株式会社	コロナ禍での住まいへの意識に関して
10月9日(金)	SBI プリズム少額短期保険株式会社	コロナ禍でのペットとのライフスタイルの変化

※アンケート調査の概要は、各事業会社別の調査結果のポイントをご参照ください。

※アンケート調査の詳細は、概要欄に記載の調査結果の掲載先をご参照ください。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

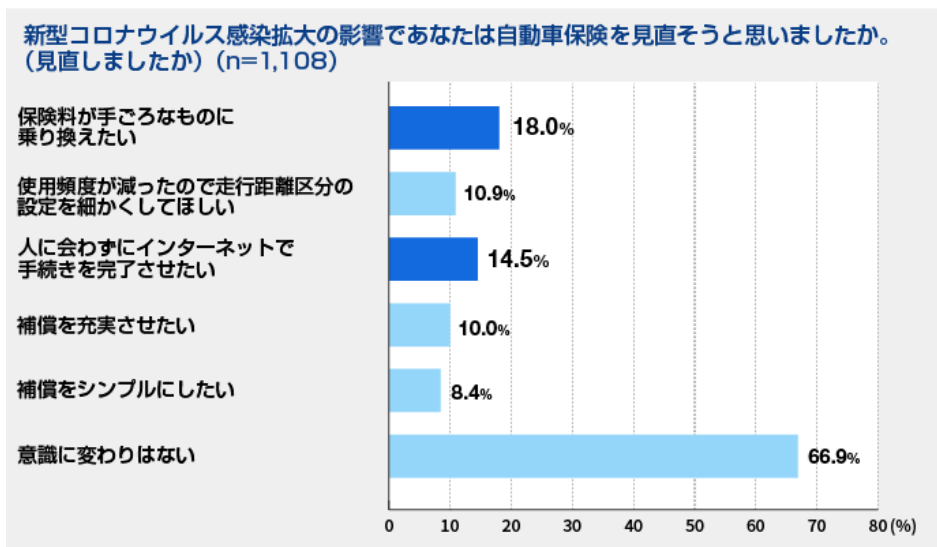
SBI インシュアランスグループ株式会社 IR・広報部 03-6229-0881

(別紙)各事業会社別の調査結果のポイント

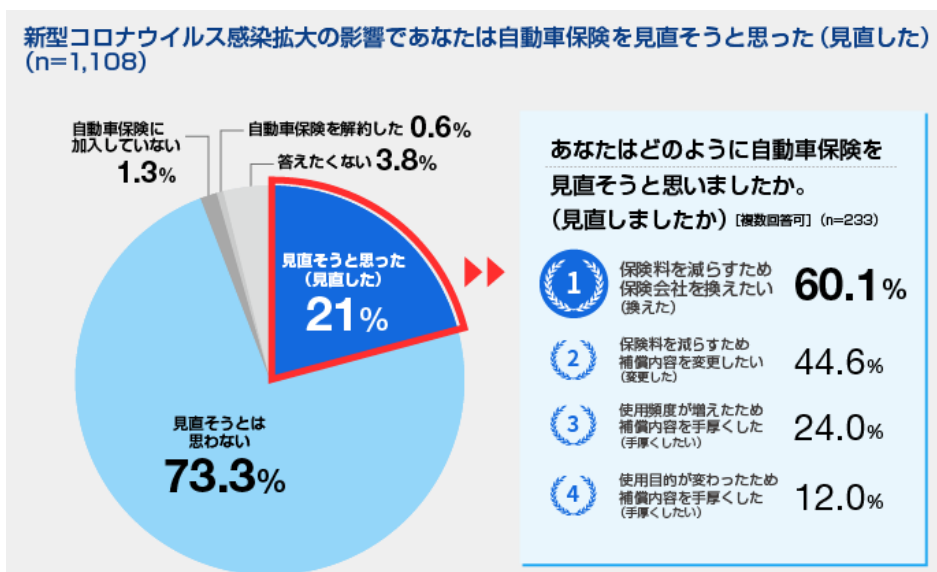
事業会社名	SBI 損害保険株式会社
調査テーマ	コロナ禍での自動車・自動車保険に関する意識の変化
調査結果の掲載先	https://www.sbisonpo.co.jp/company/news/2020/1002.html

調査結果のポイント

1. 自動車保険への加入意識が変わった人は約 3 割。加入の意識が変わった人のうち、約 2 割が「保険料が手頃なものに乗り換えたい」と回答。



2. 新型コロナウイルスの影響により自動車保険の見直しを検討した（見直した人を含む）人は約 2 割。見直しを検討した人のうち、約 6 割が「保険料を減らすため保険会社を換えたい（換えた）」と回答。



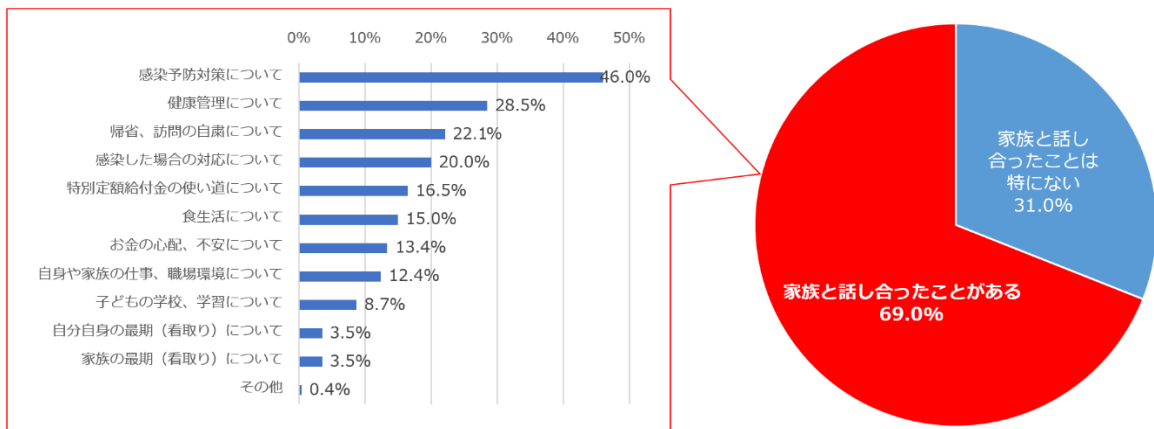
事業会社名	SBI 生命保険株式会社																																																														
調査テーマ	コロナ禍のスマートフォン決済に関して																																																														
調査結果の掲載先	https://www.sbilife.co.jp/corporate/press/pdf/NR20201005.pdf																																																														
調査結果のポイント																																																															
<p>1. 約6割が、日用品や食事などにおけるスマートフォン決済の利用が直近で増えたと回答。そのうち約3割がコロナ対策を意識して利用を拡大したと回答。</p> <p>日用品やお食事などの身近なお買い物をする際、スマートフォン決済利用開始当時と比較して直近での利用頻度は増加しましたか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答者数</th> <th>増加した</th> <th>やや増加した</th> <th>変わらない</th> <th>やや少なくなった</th> <th>少なくなった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>1,113</td> <td>24.4%</td> <td>33.2%</td> <td>35.0%</td> <td>4.0%</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>スマートフォン決済の利用は、いつ頃から増加しましたか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答者数</th> <th>2019年10月以降から利用増加</th> <th>新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用増加</th> <th>徐々に増加してきている</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>641</td> <td>49.8%</td> <td>26.4%</td> <td>23.7%</td> <td>0.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 今後の利用を望む用途として、病院や行政サービスなどの普及が進んでいない公共分野が上位を占める。口座振替やクレジットカード引き落としが一般的な保険料支払いにおいても、重要性が高まっている。</p> <p>あなたが、日用品やお食事などの身近なお買い物をする際に限らず、今後、スマートフォン決済で利用してみたいと思うものを教えてください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答者数</th> <th>現在利用している日用品等 身近なものの購入</th> <th>病院・調剤 薬局の会計</th> <th>行政サービスの支払関係 (住民票などの料金)</th> <th>保険料の支払い</th> <th>株などの投資・金融商品</th> <th>冠婚葬祭に関わる支払い</th> <th>住宅ローンの支払い</th> <th>金など換金性のある物の購入</th> <th>土地など高額なものの購入</th> <th>その他</th> <th>わからない/特になし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>1,113</td> <td>50.7%</td> <td>50.2%</td> <td>31.1%</td> <td>27.4%</td> <td>15.6%</td> <td>13.3%</td> <td>11.7%</td> <td>9.7%</td> <td>7.3%</td> <td>0.9%</td> <td>18.1%</td> </tr> </tbody> </table>													回答者数	増加した	やや増加した	変わらない	やや少なくなった	少なくなった	全体	1,113	24.4%	33.2%	35.0%	4.0%	3.4%		回答者数	2019年10月以降から利用増加	新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用増加	徐々に増加してきている	その他	全体	641	49.8%	26.4%	23.7%	0.2%		回答者数	現在利用している日用品等 身近なものの購入	病院・調剤 薬局の会計	行政サービスの支払関係 (住民票などの料金)	保険料の支払い	株などの投資・金融商品	冠婚葬祭に関わる支払い	住宅ローンの支払い	金など換金性のある物の購入	土地など高額なものの購入	その他	わからない/特になし	全体	1,113	50.7%	50.2%	31.1%	27.4%	15.6%	13.3%	11.7%	9.7%	7.3%	0.9%	18.1%
	回答者数	増加した	やや増加した	変わらない	やや少なくなった	少なくなった																																																									
全体	1,113	24.4%	33.2%	35.0%	4.0%	3.4%																																																									
	回答者数	2019年10月以降から利用増加	新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用増加	徐々に増加してきている	その他																																																										
全体	641	49.8%	26.4%	23.7%	0.2%																																																										
	回答者数	現在利用している日用品等 身近なものの購入	病院・調剤 薬局の会計	行政サービスの支払関係 (住民票などの料金)	保険料の支払い	株などの投資・金融商品	冠婚葬祭に関わる支払い	住宅ローンの支払い	金など換金性のある物の購入	土地など高額なものの購入	その他	わからない/特になし																																																			
全体	1,113	50.7%	50.2%	31.1%	27.4%	15.6%	13.3%	11.7%	9.7%	7.3%	0.9%	18.1%																																																			

事業会社名	SBI いきいき少額短期保険株式会社
調査テーマ	コロナ禍における意識・行動の変化
調査結果の掲載先	https://www.i-sedai.com/pdf/PressRelease201006.pdf

調査結果のポイント

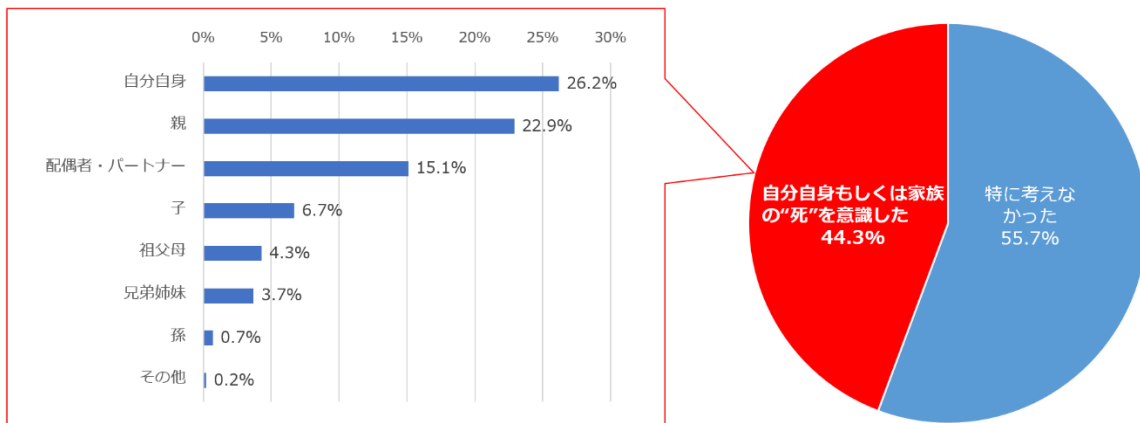
1. 新型コロナウイルスをきっかけに約 7 割が家族と何かしらの話し合いを行ったと回答。最も多く話し合われたのは「感染症予防対策について」で、約半数。

新型コロナウイルスをきっかけに、家族と話し合ったことは何ですか。【複数回答可】(n=1,127)



2. 新型コロナウイルスをきっかけに、半数近くが自分自身もしくは家族の死を意識。

新型コロナウイルスをきっかけに、あなた自身、もしくはあなたの家族の“死”について意識しましたか。【複数回答可】(n=1,127)

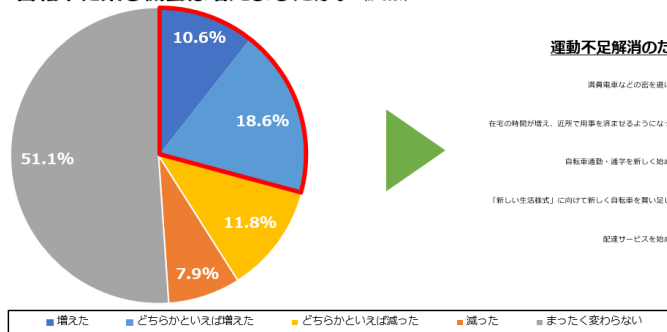


事業会社名	SBI 日本少額短期保険株式会社
調査テーマ	コロナ禍による自転車利用の変化
調査結果の掲載先	https://www.n-ssi.co.jp/news/post/1121

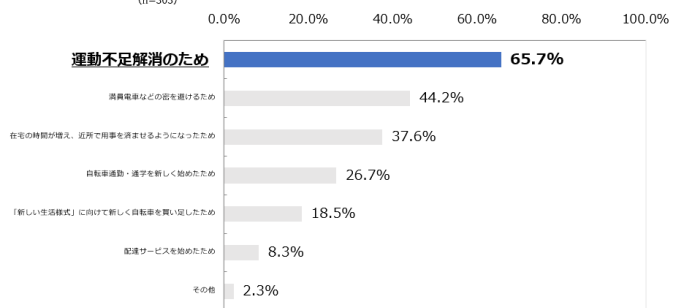
調査結果のポイント

1. 約 3 割が新型コロナウイルスの影響により自転車の利用が増えたと回答。利用が増えた理由の第 1 位は運動不足の解消。

新型コロナウイルスの影響によって、自転車に乗る機会は増えましたか。(n=1037)



自転車に乗る機会が増えた理由をお聞かせください。(n=303)



2. 約 6 割が事故の危険を感じたことがあると回答。そのうち、約 8 割が事故対策を実施していると回答。最も多い事故対策内容は、交差点での安全確認。

	n	自転車に乗る際、事故に備えてどんな対策を行っていますか？									
		交差点では安全確認を行っている	暗くなりはじめたら早めにライトをつけている	保険に加入している	特に対策は行ってない	定期的に車体をメンテナンスしている	よく見えるよう反射材を追加している	ヘルメットなど、身を守るものを身につけている	答えたくない	その他の対策を行っている	
全体	1037	47.5%	40.5%	32.7%	24.9%	16.9%	16.6%	8.9%	1.1%	0.8%	
自転車に乗っていて、事故の危険を感じたことはありますか？	危険を感じたことがある	651	56.8%	46.2%	37.8%	17.2%	20.4%	21.5%	12.1%	0.3%	0.8%
	特に危険を感じたことはない	373	32.7%	31.6%	24.4%	38.3%	11.3%	8.3%	3.5%	0.5%	0.8%
	答えたくない	13	0.3%	0.3%	0.5%	0.8%	0.0%	0.3%	0.0%	1.9%	0.0%

事業会社名	SBI リスタ少額短期保険株式会社
調査テーマ	コロナ禍での住まいへの意識に関して
調査結果の掲載先	https://www.jishin.co.jp/_shared/pdf/press20201008.pdf

調査結果のポイント

1. 地方への住み替えを考えた人のうち、約 4 割が住み替えを考えた理由として、新型コロナウイルスの影響によると回答

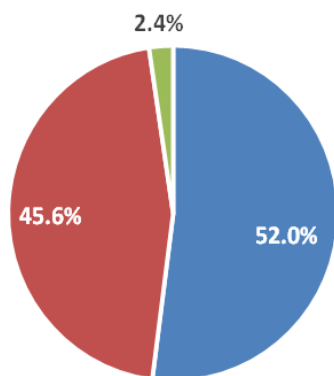
新型コロナウイルス感染症の影響により居住地に対するあなたの意識は変わりましたか

		新型コロナウイルス感染症の影響による居住地に対する意識の変化				
		特に変わらない	都会に住みたいと思うようになった	地方に住みたいと思うようになった	その他	計
移住先の希望	現在より都会に住まいを変えたい	74.6%	18.9%	6.0%	0.5%	100%
	現在より地方に住まいを変えたい	47.7%	11.3%	39.7%	1.3%	100%
	未定	79.4%	3.7%	16.9%	0.0%	100%
	その他	72.7%	9.1%	0.0%	18.2%	100%

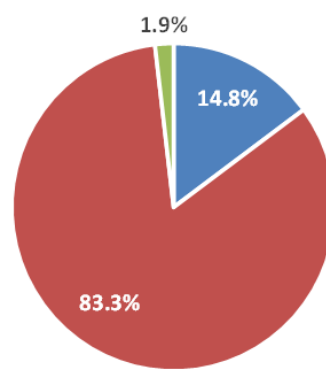
2. 住まいの良さをより実感したのは「一戸建て居住者」。また、共同住宅居住者の約半数が一戸建てを好む

あなたは共同住宅と一戸建てのどちらが好きですか。

共同住宅居住者 (n=467)

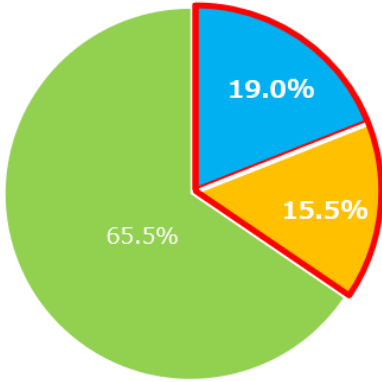
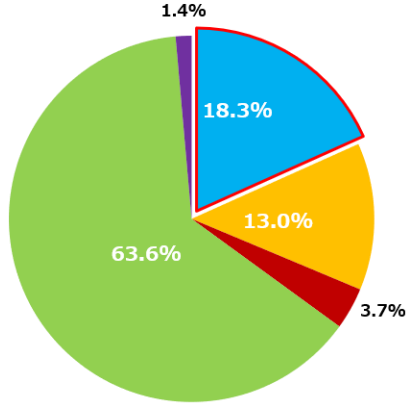


一戸建て居住者 (n=593)



- 一戸建てより共同住宅のほうが好みだ
- 共同住宅より一戸建てのほうが好みだ
- その他

- 一戸建てより共同住宅のほうが好みだ
- 共同住宅より一戸建てのほうが好みだ
- その他

事業会社名	SBI プリズム少額短期保険株式会社
調査テーマ	コロナ禍でのペットとのライフスタイルの変化
調査結果の掲載先	https://www.sbiprism.co.jp/pdf/news/news20201009.pdf
調査結果のポイント	
<p>1. 新型コロナウイルス感染症により約 3 割がペットを迎えることを検討し、約 2 割が実際にペットを迎えた</p> <p>コロナ禍で自宅待機期間が増え、ペットを新たに迎えようと思いましたか。 (n=1100)</p>  <p>34.5%がペットを迎えることを検討 19%が実際にペットを迎えた</p> <p>■ 思ったので迎えた ■ 検討したが迎えなかった ■ 思わなかった</p>	
<p>2. 約 4 割がペットとの外出時に、人出が少ない場所や時間を選ぶと回答。またペット用品の購入については約 2 割がネット通販への切り替えを行った</p> <p>コロナ禍での外出制限によりペット用品（フードやおやつ、ペットシート、ペット用おもちゃ等）の購入に変化はありましたか。 (n=1100)</p>  <p>■ ネット通販での購入が増えた ■ ペットショップやホームセンター等へ行く頻度が減った（まとめ買いをするようになった） ■ 遠方の大型店よりも近隣の店舗（ペット専門店等）へ行くことが増えた ■ 変化はない ■ その他</p>	